



て提出書類（参加資格確認書類）を確認した結果、当該事業者が参加資格を満たしていることが認められた。

令和5年11月1日（水）から17日（金）にかけて企画提案書の受付を行い、1者から企画提案書（技術提案書及び価格提案書）が提出された。

#### (4) 第3回委員会（第2次審査準備）

令和5年12月14日（木）に開催し、第2次審査に向けたプロポーザル審査方法等に関する確認を行った。

#### (5) 第4回委員会（第2次審査）

令和5年12月21日（木）に武蔵野市役所内812会議室において、第1次審査を通過した1者について、プレゼンテーション及びヒアリングを非公開で行った。優先交渉権者決定基準等に基づき、企画提案書類及びプレゼンテーション・ヒアリングによる技術評価審査及び価格評価審査を実施した。

プレゼンテーション及びヒアリングの後に、各委員による技術評価点が提出され、価格評価審査を行った後、総合評価点（技術評価点＋価格評価点）を算出し、以下のとおり、最優秀提案者を選定した。

提案者（事業者）	技術評価点	価格評価点	総合評価点
むさしの下水道管路共同企業体	579.2/800	200.0/200	779.2/1000

※技術評価点における最低基準点 380点

・最優秀提案者          むさしの下水道管路共同企業体

### 3 総評

むさしの下水道管路共同企業体の企画提案については、定量評価項目である技術評価4項目では、特に技術力の評価（官民連携事業の受注実績）、配置予定技術者の実績（管路施設に関わる受注実績）、地域貢献に関する提案（武蔵野市内構成員の数）において、本業務を遂行する上で豊富な業務実績と実行性のある実施体制の提案であった。また、定性評価項目である技術評価13項目においては、特に安全管理・危機管理、統括管理業務、計画的維持管理業務及び改築業務（工事）に係る項目について優れた提案があった。

今後、共同企業体からの提案に基づき、価格及び仕様等の交渉を経て、契約を締結し、令和6年4月より滞りなく本事業の導入を実施されたい。

なお、契約締結後、市と共同企業体が協議及び連携し、より良い事業の遂行を望む。

### 4 武蔵野市下水道施設長期包括業務委託事業者選定委員会 委員

委員名	所属	役割
長岡 裕	東京都市大学 建築都市デザイン学部教授	委員長
佐藤 克己	日本大学 生産工学部教授	委員長代理
佐藤 研三	公益社団法人 日本下水道協会 技術課長	
樋爪 泰平	武蔵野市財務部長	
大塚 省人	武蔵野市環境部長	